



# 国際交流を推進

交流事業費として1129万円補正

6頁に関連記事



国際交流の舞台として

## 6月 定例会

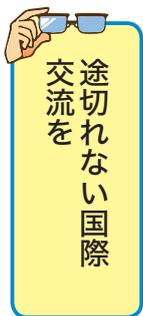
定例会は6月12日から19日までの8日間で開催され、令和元年度補正予算2件、条例改正3件、人事案件2件、工事請負契約1件、取得案件1件について審議し、原案のとおり可決しました。また、請願2件について、1件を採択、1件を不採択としました。一般質問は1議員が行い、町政の事業について問いました。

### ◆主な経過

平成30年8月に中国ソフトボールのホストタウン登録団体に承認されたことを受け、9月に白鷹町ホストタウン推進本部を設立。平成31年3月に町長が中国を訪問し、事前合宿誘致等に向けた覚書を締結した。

### ◆主な交流事業(予定)

- 7月：中国ティーボール少年団が白鷹町を訪問し、野球スポ少と交流。
- 8月：中国ソフトボールナショナルチーム(若手)が合宿。
- 9月：オリンピックアジア・オセアニア地区最終予選(上海)への応援ツアー。



途切れない国際  
交流を

**委員** 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業の中の、補助金800万円の使い道は。

**当局** 中国ティーボール少年団と、女子ソフトボールナショナルチームとの交流事業に、およそ620万円を予定。上海で開催される地区最終予選への応援ツアーの補助として、およそ180万円を予定している。

**委員** 応援ツアーの対象者や人数は。

**当局** 町民の方およそ12人を募集したい。ツアー費用は1人30万円ほどと見込んでおり、15万円程度の補助を考えている。

予算特別委員会質疑  
補助金の使い道は